



# まちのわだい



## 福祉避難所の開設及び運営に関する協定を締結

12月12日、県立三雲養護学校と「災害時における福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結しました。

災害時に特別支援学校の児童生徒をはじめとする避難行動要支援者（専門性の高いサービスが必要で、市が開設する指定避難所での避難生活が困難とされる人）を受け入れる福祉避難所を開設・運営いただきます。



## もし湖南省で災害が起こったら… 災害ボランティアセンター設営訓練

11月27日、社会福祉センターで、南海トラフ地震による災害を想定してのボランティアセンター設営訓練が行われ、湖南省の社会福祉協議会と災害ボランティアセンター運営隊を中心に約75人が参加しました。

集まった参加者は、ボランティアとしての心構えについて説明を受けた後、マッチング班が調整した被災者からのニーズにあわせてスコップや工事用一輪車などの資機材を受け取り災害現場へ。運営隊による的確な指示で、訓練はスムーズに進んでいきました。

参加者は「普段から災害ボランティアに関心を持っていたが、いざ活動するには事前の心構えが必要と思い参加しました。今後も訓練を積み身に付くようにしたいです」と話していました。



# おめでとうございます

## 平成28年度 統計功労者表彰

毎年各種機関では、統計事務に携わった人のなかから、その功績が特に顕著な団体または個人に対して表彰を行っています。

＜滋賀県統計協会統計事務功績者表彰＞  
岩脇友和さん(中山)

## 第48回よい歯の健康老人コンクール

次のかたがたが受賞されました。これからも健康な歯を保ってください。

＜最優秀賞＞

筒木勝代さん(中央)

＜優秀賞＞

岸谷次郎さん(三雲)

＜努力賞＞

青木三重子さん(西寺・丸山)

伊藤トシ子さん(岩根西)

池谷モモヨさん(北山台)

竹下幸雄さん(北山台)

土屋富士男さん(湖南団地南)

## 全国老人クラブ 育成功労表彰

池上幸男さん(中央)が、老人クラブ育成などの功績により受賞されました。



池上さんは、中央虹の会をはじめ、県の老人クラブ連合会でも理事を務め、現在も運営や育成に貢献されています。

## ボランティア功労者 厚生労働大臣表彰



「シルバー舞踊教室」の皆さんが、長年にわたる功績により受賞されました。高齢者サロンや施設を訪問し、楽しみと生きがい作りのボランティア活動をされています。

## ご長寿おめでとうございます



柴田 豊子さん 100歳

1916年(大正5年)11月生まれの柴田豊子さん(岩根東)が、100歳の誕生日を迎えられました。

いつまでもお元気で、長生きしてください。



# ありがとうございます

11月25日、明石機械工業株式会社様より公用車として軽自動車を寄贈いただきました。地域福祉に活用させていただきます。



12月2日、第40回甲賀・湖南省チャリティーゴルフ大会実行委員会様から、サッカーボールを市内各中学校に20個ずつ寄贈いただきました。青少年育成のために活用させていただきます。



12月9日、湖東信用金庫様より、チャリティーゴルフコンペによる募金3万円を寄贈いただきました。児童福祉振興のために活用させていただきます。



12月12日、シーアイ化成株式会社労働組合様より市内旧石部町地域の小・中学校に図書券(9万円分)を寄贈いただきました。子どもたちの学校図書購入に活用させていただきます。



## ジュリアーノ市長と考える “動物愛護ってニャあに？”

11月29日、下田小学校4年生がこにゃん市長ジュリアーノをゲストに招き、動物愛護について学びました。この日は、児童たちが今までの授業を通じて考えたことを「私の宣言文」として発表。「動物一匹一匹の命を大切にしたい」「動物は人間と一緒に命があるから大切にする」など一人ひとりが感じ、考えたことを発表しました。

授業の最後にはジュリアーノ市長の秘書で飼い主の豊永勝弘さんが「今回考えた言葉を実際の行動に移すことが大切」と子どもたちに伝えました。



## たちまち!おこし隊

湖南省地域おこし協力隊の活動をたちまちご紹介!



### 食器で変わる、暮らしを味わう食卓

108円で売られている量産品のマグカップが、どんな風に作り上げられたか、映像が浮かびますか?機械で自動に作られていたとしても、多くの技術がつまっております。改めて考えると興味深いものです。一方、工芸として作る品は、技術だけではなく、手作業の痕跡、材料や作者の顔といった多様なストーリーが、観察するほど見えてきやすく、想像できる要素がさらに膨らみます。

そんな視点で、食事を楽しみ、花を飾り、自然を感じながらその人らしく暮らしを楽しむ。そんなキッカケとなるように、「暮らしを味わうウツワ(器)」として、単なる製品の生産に留まらず、湖南省からスローライフとしての文化の醸成をめざします。生活道具や空間を魅力的にすることは心のビタミンとして重要です。



Mission: 陶芸・物産開発 伊藤 慎  
展示のお知らせ: [www.shin-ito.jp](http://www.shin-ito.jp)  
「暮らしを味わうウツワ」  
湖南の陶芸 伊藤 慎展  
1/1 ~ 1/10 西武大津店 1階特設会場

湖南省地域おこし協力隊 で検索! TEL/FAX: 0748-69-6707 EMail: [konan.okoshi@gmail.com](mailto:konan.okoshi@gmail.com)